

講習科目名	【選択】地理講座	実施期日	8月18日 (水)
時間数	6時間(60分×6)	講習形態	講義・実習
主な受講対象者	中学校社会科教諭, 高等学校地理歴史科教諭	受入人数	20人
担当教員	岩動志乃夫(教養学部教授): 1・2時限目担当 高野岳彦(教養学部教授): 3～6時限目担当		
講習の到達目標 (成績評価の観点)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代社会における人文・自然地理の見方と地誌の見方の特徴と新学習指導要領における「地理総合、地理探求」の内容を理解し、説明することができる。</li> <li>2. GISの基礎知識をふまえて、フリー地図ソフトを利用した分布図の作成を行い、地域情報のグラフィック表現の技能を習得する。</li> <li>3. 上で得た知見を日々の授業で有効活用し、生徒の地理的関心を高めることができるようになる。</li> </ol>		
講習の概要	<p>講義(2時間)においては、高等学校の新指導要領について解説し、中学校・高校の地理の授業および教材づくりについて考える。実習(4時間)においては、GISの基礎知識を解説した後、地図ソフトによる分布図づくりを行い、地理や関連科目での教材づくりへの応用を考える。</p>		
講習計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1時限目: 地理学習の目標と方法(講義) 人文地理学および地誌学の内容をふり返り、産業や人々の生活と文化を学ぶ意義を確認しながら、現在抱えている地球的諸課題について解説する。合わせて新学習指導要領のポイントを解説する。</li> <li>・2時限目: 修了認定試験。</li> <li>・3時限目: GISの基礎知識とフリー地図ソフト、On Line GISについて解説。</li> <li>・4時限目: 統計分布図ソフトの使い方を解説し、分布図づくりに挑戦する。</li> <li>・5時限目: より複雑な分布図づくりを解説して地図づくりに挑戦する。</li> <li>・6時限目: 修了認定試験</li> </ul>		
評価方法	<p>本講座の知見が実際の授業の改善にどう応用できるか、あるいは応用するにはどんな点をさらに補うべきかについて、各自の経験をふまえて論じる小論文を課す。</p>		
教材・参考文献	<p>講義当日に配付する。</p>		
受講者に望むこと	<p>普段から身近な地域から世界の地域問題に関心を持ち続けること。</p>		
備考			